



大学生のキャリア形成支援の現場から

第3回 真の「女性活躍推進」とは

本庄 麻美子

仕事柄、卒業生の結婚式に招待いただくことが多く、この春は3度出席させていただきました。そういった場で再会する卒業生から、近況報告と共にキャリア相談を受けることがあります。特に20～30代女性におけるキャリアの悩みは多彩。「仕事が楽しくて仕方がなく、このままいくと子どもを産むタイミングを逃してしまいそう」、「自分のキャリアとパートナーのキャリア、どちらを優先するか難しい」、「保育園に預けたら出費が増えるので、周りからは出産後も働き続けることを反対される」など、彼女たちは様々なケースで葛藤しています。

そんな悩み多き働く女性を後押しする女性活躍推進法が、この春施行されました。社員301人以上の企業には、自社の女性活躍状況を把握し課題分析を行うことや、その推進に向けた行動計画策定などが新たに義務付けられています。そのネーミングから誤解されがちなのですが、これは女性だけに対する法律ではありません。「女性の職業生活における活躍推進は、男性の家庭や地域における活躍推進と同時であってはじめてバランスが取れるもの」という視点があり、女性

への支援を強化する一方、男性が家庭や地域への時間を割りやすくする配慮も大切です。

実際に大学生の就職観はいち早く変化しています。先日発表されたマイナビ大学生就職意識調査によると、就職観第1位「楽しく働きたい」に次ぐ第2位は「個人の生活と仕事を両立させたい」で、4年連続で増加傾向にあるとのこと。特に文系男子では1位に迫る割合となり、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」がより重要視されるようになったといえます。

今後、労働者人口が減っていく中で、個々が働きやすい環境づくりに組織がどのように対応していくかが大きな課題といえます。現場ではつい制度設計から考えてしまいがちですが、その前に、様々な価値観をお互いが受容する環境づくりを組織に呼びかけてみてください。まずは声の掛け合い、お互いがお互いの事情を理解し、支え合える雰囲気づくりが重要です。大学生の就職活動の中でも、そのような環境こそが企業を選ぶポイントのひとつであることは間違いなく感じています。

(ほんじょう・まみこ / 和歌山大学経済学部助教)

第83回 わだい浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

戦前期和歌山における女子教育の歴史

—高等女学校教育にみる理想の女学生像の変遷—

話題提供者 土田 陽子 (和歌山大学 システム工学部 特任准教授)

日時

2016年6月15日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

みなさんは「良妻賢母」と聞くと、どのような女性を思い浮かべるでしょうか？明治・大正・昭和と、いったいどのような女子教育が行われていたのか、またそれが時代とともにどのように変化したのか、当時の新聞史料や学校史料を提示しながらわかりやすく説明したいと思います。

わだい浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライトオフィス 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX：072-433-0875

岸和田サテライト 検索